

2019年5月22日

各位

PD-1 特許に関する報道を受けての当社コメント

私ども小野薬品は、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、いままでにない革新的な医薬品を世界の患者さんにお届けするために、社員一丸となって取り組んでおります。

当社は、本庶佑特別教授の業績にかねてより多大なる敬意を表しており、「免疫制御の阻害によるがん治療法の発見」による昨年のノーベル生理学医学賞受賞に際しても、新たながん治療法について共同研究を実施することができた巡り合わせに感謝しております。

また、新薬の成功確率が2万～3万分の1といわれるリスクの高いビジネス環境の中で、新薬に特化して研究開発を推進する当社事業活動に対してご理解いただいている株主の皆様にご心より御礼申し上げます。

本庶教授の基礎研究をもとにオプジーボを抗がん剤として医薬品化した当社の使命は、本剤をできる限り早く、より多くの患者さんに届けることであり、現在も適応がん腫の拡大などに努めております。また、がん免疫療法に対する懐疑的な見方を覆すこととなった研究開発を通じて、基礎研究の大切さと産学連携の必要性を改めて認識いたしました。今後も国内外の大学・研究機関との共同研究を積極的に行い、医学・薬学の発展に貢献して参りたいと考えております。

さて、先般より報道されておりますPD-1特許に関するライセンス契約につきましては、本庶教授と当社が合意の下、2006年に締結しております。そして、2014年より契約に基づく対価をお支払いしており、今後も契約に基づく対価を四半期ごとにお支払いして参ります。

また、2011年に本庶教授から当社に要請のあった契約の見直しに対しても誠意をもって話し合いを続けて参りましたが合意に至らず、2018年11月に本庶教授に対し、対価の上乗せという枠組みではなく将来の基礎研究の促進や若手研究者の育成に資するという趣旨から京都大学への寄付を検討している旨、申し入れています。

今後は、本庶教授との話し合いを継続するとともに、基礎研究の促進や若手研究者の育成のための寄付について、株主様への説明責任を果たしつつ、慎重に検討して参ります。

当社は、今後も広く社会に貢献できる企業であり続けたいと考えております。株主様をはじめ、ステークホルダーの皆様には、引き続き当社事業活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

＜本件に関する問い合わせ＞
小野薬品工業株式会社 広報部
TEL : 06-6263-5670
FAX : 06-6263-2950